

あぶら



No. 98

◆ 発行日 ◆
令和4年3月1日



卒業によせて

PTA会長 傳法 薫

卒業生の皆さん、これまでお子様を育て見守ってこられた保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。大湊高等学校PTAを代表いたしましたし、心よりお祝い申し上げます。

皆さんは三年前に、厳しい受験を勝ち抜き、希望いっぱい大湊高等学校に入学されたと思います。そして、勉強や部活動、体育祭、文化祭、球技大会などとこれらの活動を一生懸命頑張り、その中で素晴らしい先生や友人に巡り合い、大きく立派に成長され、卒業を迎えることに、保護者として、とても感動を覚えています。皆さんはこの学校で一つの目標に向けて、みんなで頑張ることの素晴らしさを感じられたことと思います。

四月からは、進学、就職へと新たなステージのスタートを迎え、これまでとは違う新しい環境へ飛び込んでいくこととなります。その先々では様々な困難を迎えることになるでしょう。大湊高等学校で学び、身をもって経験してきたことを活かし、自分自身に厳しく、何事にも挑戦し、耐える力をつけ自分の目標へと前進してください。

最後になりますが、校長先生をはじめ教職員の皆様、二年間、子供達を温かく見守り、時には厳しく、ご指導いただきましたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

卒業生の皆さんのこれからのご活躍とご健勝を祈念しお祝いの言葉とさせていただきます。



「本気の大人との出会い」

校長 千葉 栄美

一番のキャリア教育は地域にいる「本気の大人」に出会わせることだとずっと思ってきました。自分自身が若かった頃、大人は悩んだり、傷ついたりしないのだと思っていました。でも大人になってみると、むしろ子供だったときより不格好で、不器用な自分がいることに気が付きました。それでも私たち大人は精一杯生きています。生活のため、家族のために仕事をしながら。いくつかの夢をあきらめ、でもいくつかはあきらめずに胸に抱きながら。子供の時より自由になり、誰かに指図されることはなくなりました。でも見えない何かに縛られながら必死で生きています。こんな姿をそのまま生徒たちに見せてあげたいと思っています。

今年から1年次で始まった「下北HEROS」という取り組みは地域で必死で頑張っている大人に生徒がインタビューをし、その結果をまとめお互いに発表するというものです。ボンサーブ、あべファーム、工房あゆみ、村口産業・・・その他多くの企業に生徒が直接話を聞き、仕事のことだけではなく、その人の人生、生き方、そんなものまで聞いてプレゼンテーションソフトにまとめていました。大きな借金を抱えながら、挑戦を続けた話。大失敗の末、製品化した話。自分の会社のことだけではなく、地域の未来を必死に考えている話。生徒の発表を聞くと、本気で生きている大人との出会いから彼らが多くを学んだことがわかりました。

来年度も「本気の大人」に出会える活動を積極的に実施していきたいと思っています。学びの場は学校の中だけでなく、地域の中にもありません。総合学科の豊かな学びを地域の大人を巻き込んで進めていきたいと思っています。これからも応援よろしく願います。

卒業によせて

3年次委員長 木村 浩樹

大湊高校を卒業する3年生の皆さん、保護者の皆様、御卒業おめでとうございます。

入学してから早3年、皆さんは高校3年間で多くの先生方や友人と出会い、多くの経験を積み沢山の思い出を作ったことと思います。

4月からそれぞれの新しい道を歩みだすことになりましたが、高校卒業は人生の節目だと思います。親から自立し自分の人生を歩きだすスタートであります。コロナ禍はまだ続きそうですがこれから進む路でも、目標を掲げそれに立ち向かい、一人の社会人として社会に貢献し、輝かしい未来へ羽ばたいてほしいと願っております。また、PTA活動にご尽力いただきました保護者の皆様、大変お疲れ様でした。

最後に、ご指導下さった校長先生をはじめ各先生方、学校関係者の皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

卒業に寄せて

2年次委員長 川村 健

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、保護者の皆様には心からお祝い申し上げます。

生徒の皆さんは、大湊高校の三年間で多くの先生方や友人と出会い、たくさん経験をし、立派に成長することができたことと思います。

修学旅行が中止となつてしまったことは非常に残念ですが、毎日の授業や部活動、大きな行事としては大高祭や体育祭、耐久遠足などにおいて、学び得たことは人生の財産です。

これから皆さんは、進学、就職、それぞれの将来に向かって進んで行くこととなりますが、その中でも目標を掲げ、失敗を恐れず日々挑戦し、多くのことを学び、よりたくさんの経験をすること、更なる成長ができると思います。

最後に、家族、先生、友達、仲間感謝の気持ちを伝えて下さい。卒業生の皆さんに心からの祝福を贈り、ご挨拶とさせていただきます。

ご卒業、本当におめでとうございます。

チャレンジ

1年次委員長 種澤 博之

日増しに春の訪れを感じる季節となりました。会員の皆様におかれましては、益々のご健勝の事とお慶び申し上げます。また、校長先生をはじめ、教職員の皆様におかれましては、多岐にわたり子供達の成長に多大なるご尽力をいただき心より感謝申し上げます。そして、卒業生の皆様におかれましては、進学なさる方や、就職される方もいらっしゃると思います。新しい一歩には大きな夢と希望、そして不安もあると思います。学校生活とは異なり、今までに体験したことのない困難があるとは思いますが、「不撓不屈」の精神で困難を恐れず、何事もチャレンジをして人生を素晴らしいものにしていくください。

最後に、大湊高校の益々の発展と、皆様のご健勝、そして在校生、卒業生の益々のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

Life Gauge

母親委員長 中島さおり

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。卒業生のみなさんは人生時計を知っていますか。人間の一生を24時間の時計に当てはめる考え方です。自分の年齢に3を掛けた数字が自分の人生時間です。もちろんみなさん同じ年齢なので6時になりますね。しかし、まだ寝ている人、もう家を出て活動している人、朝の6時にも様々な過ごし方があります。これからは、共に過ごした仲間達とは別々の生活をする事になります。これからの18時間、それぞれの人生をめいっばい楽しんでください。人生100年時代、まだまだ午前中位は何度でも迷い、やり直しもきくはずです。夕暮れ時になった親として、先輩として応援しています。最後に、校長先生をはじめ諸先生方、そしてPTA会員の皆様には大変お世話になりました。コロナ前の活発なみなっぺ活動を経験した者として、またあの頃のような活動ができる日が戻りますように心からお祈りします。楽しい経験をありがとうございました。

7月 体育祭



猛暑日の中での実施でしたが、各HRが一致団結し、生徒一人一人が力を発揮して競技に取り組んでいました。



学校行事等の様子





今年度は、Aコース (25.6km) とBコース (20.4km) に分かれての実施となりました。苦しくても笑顔で声をかけ合い全員が完歩を目指しました。

10月 耐久遠足



10月 大高祭



来校者なしでの実施となりましたが、昨年度できなかった3年次の模擬店が実施できました。コロナ禍でも楽しく2日間過ごすことができました。



12月 球技大会



今年度は、むつマエダアリーナで開催しました。広々とした空間でも仲間を応援する声や共に喜び姿がたくさんありました。





あとながき

石巻の震災プロジェクトに参加した生徒と、これからの防災について話し合いました。その中で、「保護者の方々も、看護師さんなど、様々な分野の方がいるので、高校生の話し合いのグループに入ってもらって、意見をいただきたい」という声が上がりました。その言葉に、これからの学校の姿が見えたような気がしました。保護者の皆さんは、それぞれの分野の専門家として地域で活躍しています。皆さんの多様な視点で、高校生を社会につなげてくださるチャンスになるのだと感じました。そして、高校生はそれを求めています。大湊高校では、多くの保護者の皆さんが、行事や活動に協力してくださっています。今年は、皆さんに来校していただく機会があまりもありませんでしたが、状況がよくなったなら、ぜひ、一緒に子どもたちを育て、地域を動かしていく場として、保護者の皆さんとともに活動していきたいと思えます。高校生がつなぐ新しい地域づくりを応援してください。

渉外部 野坂 繭子